

第4回 経営強化のためのDXゼミ 作業のDX

～人の見える化のためのシステムとツールの提案～

日時：令和5年8月2日(水) 定員：50名

13:30～16:50 (受付13:00～)

場所：ホテルアバローム紀の国 3階 孔雀の間

工場や商店等の生産性を改善し、原価を低減させるためには作業現場で何が起きているかを常時把握し、現場をコントロールしていく必要があります。近年生産管理システムを導入する企業が増え、生産機器・設備の見える化については、現場作業のデジタルトランスフォーメーション（DX）の第一歩として実現しつつあります。他方、機器をオペレートする人の動きについては精度よく検知することができず、生産性や原価を考える上での課題として残されていました。

たとえば、人の動線解析は「わかやま生産性向上スクール」でも行われてきましたが、その手法は、定点カメラで記録した動画を人が解析していくという人手のかかるオフライン解析の手法で、常時観測ができなかったり、観測できる範囲が限られたりと、把握データ量に制限がありました。

今回のセミナーでは、まず「わかやま生産性向上スクール」校長の永井達郎が現場改善における動線解析の重要性を解説し、その後、「高解像度のUltra Wide Bandによる人の行動履歴の記録と解析ツール」を凸版印刷(株)の松枝毅氏に、「カメラによる人作業の微細な解析システムと様々なセンサーを使った事例」をNECプラットフォームズ(株)の吉廣貴明氏に、それぞれ一部実演を交えてご紹介いただきます。

| 時間 | 次第 |
|-----------------|---|
| 13:30 | 開会挨拶 |
| 13:35 ～14:05 | 解説 ◆永井 達郎 公益財団法人 わかやま産業振興財団 テクノ振興部 わかやま生産性向上スクール 校長 「県内中小企業のデジタル化の実情」 ～『人の見える化』をどのように活用するのか？～ (10分間 休憩・換気) |
| 14:15 ～15:10 | 講演 ◆松枝 毅氏 凸版印刷株式会社 DXデザイン事業部 事業推進センター 「エリア検知から座標検知へ」 (10分間 休憩・換気) |
| 15:20 ～16:15 | 講演 ◆吉廣貴明氏 NECプラットフォームズ株式会社 生産技術本部 第一スマートファクトリー推進部 エキスパート 「NECの製造工場が取り組む人作業改善～具体的な手法と効果事例～」 |
| 16:15 | 閉会挨拶・実演・名刺交換・情報交換 |

※当日、会場内によらず支援拠点による個別経営相談コーナーを設置します。ご利用ください。

【問合せ・申込み先】

(公財)わかやま産業振興財団 地域活性化雇用創造プロジェクト 担当：田辺 田中

〒640-8033 和歌山市本町二丁目1番地 フォルテワジマ6階

TEL：073-433-8556 / FAX：073-433-8557

E-mail：chi-pro@yarukiouendan.jp

※お申込み方法等につきましては、裏面をご覧ください。



講師紹介

永井 達郎

公益財団法人
わかやま産業振興財団
テクノ振興部
わかやま生産性向上
スクール
校長



大手事務機器メーカーにて研究開発、経営企画、事業企画等に従事後、早期退職し開発ベンチャー創業。Uターンして「わかやま産業振興財団」で経営支援部長、和歌山ものづくり経営改善スクール校長。この間、東京大学ものづくり経営センター「ものづくりインストラクター養成スクール」を修了し、これまで和歌山県内数十社の生産性改善を支援。

松枝 毅氏

凸版印刷株式会社
DXデザイン事業部
事業推進センター



日本アイ・ビー・エム株式会社にてソリューションスペシャリストとして特にRFID/Bluetooth等の無線技術を使ったソリューション提案を実施。2016年凸版印刷に入社し、ソリューション提案ノウハウに併せてタグやリーダーなどのシステム全般での提案活動を行い、現在は新たな技術の取り組みに従事し現在に至る。

吉廣 貴明氏

NECプラットフォームズ
株式会社
生産技術本部
第一スマートファクトリー
推進部
エキスパート



NEC(株) 生産技術研究所にて、一貫して生産技術の研究開発に従事。自動化（ロボティクス）を専門とし、数々の世界最先端の製品技術、製造装置および生産システムを企画立案し開発をリード。半導体・モバイル・通信・宇宙・コンピュータ・ストレージ・有機 EL ディスプレイ・医療機器など国内外の全事業に深く幅広く関わる。2016年4月からNECプラットフォームズ(株)にて工場IoT新事業立上げに携わり現在に至る。常に最先端かつ実用性を追求し、自社工場実証によるものづくり力発展に取り組む。

申込書

7月28日(金) 締切

右記あてに **FAX** または **メール**
にてお申込みください。

FAX:073-433-8557

E-mail: chi-pro@yarukiouendan.jp

※FAXの方は、下記申込書に必要事項を記入の上、送信してください。

※メールの方は、タイトルを「DXゼミ 申込み」とし、下記事項を本文に記入の上、送信してください。

| | | |
|-------------|-------|--------------|
| 企業/団体名 | | |
| 住所・電話番号 | | 〒 |
| Eメール(代表の方) | | |
| 申込者 | ①氏名 | |
| | 所属・役職 | |
| | ②氏名 | |
| | 所属・役職 | |
| よろず支援拠点への相談 | | 希望する ・ 希望しない |

※ご記入いただいた情報は、本ゼミに関する連絡・記録のために使用するほか、各種情報提供のために使用することがありますのでご了承ください。

会場案内

ホテルアバローム紀の国
3階会場「孔雀の間」
(和歌山市湊通丁北2-1-2)

